

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第64号 2020年3月15日発行

+++++

とても春めいてきました。ほとんど冬がなかったかのようですと書いたところで、外を見たらみぞれでした。週末でも月末でも、生業を求めて農山村に行き、野良仕事でもして、できるだけ自然回帰したいです。キッチン・ガーデンでもミズナ、シュンギク、レタス、ディル、ホーレンソウが食卓をにぎわしています。アスパラガスもユリも芽が出てきました。

毎日、同じニュースでうんざりです。大したことないかと思っていきましたが、ウイルスは世界中に広がり、とんだことになりました。しばらく旅行は中止ですね。人間と家畜など人口（集団個体数）の増大による感染症は度重ねて起こるようになりました。

第四紀人新世において、ホモ・サピエンス・サピエンスがホモ・デウスあるいはAI機械に隷属する時代になるのか。そうさせないために抗い、過剰な便利さを適正な程度にまで退け、しっかり考えることから逃避せずに、虚無に浸らず、自由で幸せな暮らしを求め続けたいです。

## ○報告

### 1. 雑穀街道普及会：

何年もかかってやっと、相模原市緑区がFAO世界農業遺産への申請協力を了承して、4か年計画も提示してくださったのに、なぜか理由も不明瞭なまま藤野ではそれを辞退することにしたようです。是非考え直してほしいです。このため、また雑穀街道の普及は提案段階に後退してしまいました。それでもめげずに、雑穀街道をFAO世界農業遺産に申請する活動は続けたいと思います。個人や地元の自由な活動が基本ですが、それぞれを点から線に、さらに面に、連携協力してつなげるのが雑穀街道の提案です。

上野原市西原の中川さんを2月29日に訪問し、お昼に手打ちそばと、お土産に精白したての雑穀類をいただきました。雑穀の記事を連載しておいで陸田さんにも偶然びりゅう館でお会いしました。びりゅう館には雑穀街道のチラシが貼ってあります。小菅の道の駅物産館では西原の雑穀も販売されています。

### 2. 植物と人々の博物館

自然文化誌研究会で2月15日（藤野）、2019～2020年の活動について報告しました。2月21日（小菅）に、図書の整理を行いました。2月28日（吉祥寺）に西村さんと運営などについて協議しました。3月9日（小金井）にやしほ映画社の瀬瀬監督を訪問しました。

## ○予定

### 1. 植物と人々の博物館

1) 開館・作業予定日：2020年3月27日、4月17日ほかの予定（原則金曜日）です。

2) 極小展示： ヨーロッパの観光旅行で集めた小物工芸品など。

3) 栽培保存種子： 雑穀類アワ、キビ、ヒエ、モロコシ、ハトムギ、オオムギ（六条、モチ在来）、コムギ、半白キュウリ、香辛料ディルなどの種子が欲しい方にはお送りします。ぜひ楽しく栽培して増やしてください。

4) 民族植物学ノオト第13号は電子出版で、2020年3月末頃に発行します。

今後とも、いつでもご寄稿を歓迎します。これまでのすべての記事 pdf は植物と人々の博物館ホームページ（ミュージアムグッズ）で読めます。国会図書館にも第12号まで所蔵されています。バックナンバーは僅少ですが、希望者に差し上げます。メールマガジンもすべて記録してあります。

会誌ナマステは自然文化誌研究会のホームページで読めます。

[www.ppmusee.org/goods.html](http://www.ppmusee.org/goods.html)

自然文化誌研究会と植物と人々の博物館のホームページを国会図書館 e デポに自動収録するようにお願いしました。デジタルデータは漸次更新収録され、国会図書館において公開閲覧できるようで、自然文化誌研究会の活動記録を公的機関に残すことができます。

5) 電子書籍：「植物と人々の博物館」ホームページのミュージアム・グッズに電子書籍の項を作って読めるようにするとともに、国会図書館のデジタル e デポに自動収集してもらうようにしています。なお、次の電子書籍は順次必要に応じて改訂していきます。まだ、数年は書き続けるので、確定稿に至ったら、同上の通り、順次、「植物と人々の博物館」ホームページに移行します。当面は下記の雑穀・民族植物学関係個人ホームページで一部を読めます。このホームページはパソコン更新の機会にバージョンアップして、大幅に書き換える予定です。

『雪虫』降矢静夫俳句集～甲武境の村・西原に生きて（1998）：ミュージアム・グッズに pdf 掲載の句集は降矢静夫師（俳号光岑）によるもので、増補改訂版を作成するように編集作業中です（安孫子さん宛の 500 通）。今のところ電子書籍にする予定です。また、降矢さんの人生哲学を深く学ぶために書簡および対談テープ（木俣宛約 300 通、20 本余）もすべてデータベース化する作業をしています。いずれ『山村農人の教養』としてまとめます。

『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』、『日本雑穀のむら』は一部公開、改訂しています。『第四紀植物』および“Essentials of Ethnobotany”は非公開で書き進めていますが、夏までには一部公開します。

#### 6) 森とむらの図書室

インド関係の書籍他を整理しています。インドの女優、ミーナ・クマリの映画 3 本 DVD を購入しました。もちろん会ったこともないのですが、彼女が撮影の合間に、海辺で石拾いをしていたとか、自然が好きな人だったと新聞記事で読み（1995）、ファンになりました。次号のナマステで冒険探検粉塵記第 2 シーズン（第 21 話）の初めに映画評をしたいです。

寄贈冊子：お米の勉強会会報、クリンネス、現代農業、うかたま、季刊地域、グリーンもあ、グリーン・ウォッチなどをありがたく頂いています。「コミュニケーションレター コム」（2019.12、No.181）は雑穀街道の特集をしてくださいました。

会員雑誌：雑穀研究、南アジア研究、環境文明 21 会報。

#### 2. 雑穀街道普及会：

2023 年は国際雑穀年になりますので、賛同者を広く募っています。FAO 世界農業遺産申請に向けて賛同が広がるようにどうぞ援助くださいますようお願いいたします。

\* 下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』第3章関東地方・第4章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millet/sn/jnmpmilvil.html>

3. 家族農業と環境学習を課題に雑穀街道の実践理論を深めるため研究助成を申請する準備をしています。

#### 4. トランジション・ジャパンからのお知らせ

ご関心の方は参加ください。エコミュージアム日本村（トランジション小菅）もネットワークに参加しています。

また、木俣はトランジション小金井（TTK）の会員でもあります。

.....

春分の日：特別企画「移行者の集いスペシャル～春よ、来い！」

○トランジション説明会：AM9:30～10:00

トランジションって何？トランジション初心者の方はもちろん、すでにトランジションタウンの活動をしている人も

おさらいのつもりで、多くの方のご参加お待ちしております。

○午前の部：AM10:00～12:00

テーマ「はじめまして！全国のTTからこんにちは！」：各地のTT参加者からのご挨拶、活動紹介、悩み事シェア、

などなど相互に知り合い、何でも語り合しましょう。

ファシリテーター：吉田俊郎（TJ共同代表・TT南阿蘇）

○午後の部：PM:14:00～16:00

テーマ「令和のビーイング・ミーティング」：昨今のコロナ・パニックについて、や今思う事、心の声や本音トーク、

インナートランジションについて。

ファシリテーター：小山宮佳江（TJ共同代表・TT藤野）

○夜の部：PM:18:00～20:00

テーマ「バーチャル居酒屋：酒持って来い！笑」：好きなお酒を持ち寄って、飲みーティングしましょう。

無礼講でいい放題、飲み逃げOK、貸し借りなし。

ファシリテーター：梶間陽一（か～ま：TJ副代表理事・TT小金井）

★特に午前の部「はじめまして！全国のTTからこんにちは！」は、各TTで集まって参加していただいてもかまいません。

ZOOMの苦手な方、初めての方は、みんなで集まって参加していただくのがベターかもしれません。

■「移行者の集いスペシャル～春よ、来い！」参加URL

<https://zoom.us/j/503923166>

■申し込み&アンケートご協力をお願い

ご参加予定の方は下記のサイトより申し込み入力&アンケートにご協力ください。

申し込みフォーム：<https://forms.gle/UC7nSQH6UwgZ4MsY9>

ご参加の方は「参加予定」をクリックしてくださいネ！

■オンラインビデオ会議システム Zoom について；無料で使えるオンラインビデオ会議システムです。

URL をクリックすれば、そのまま参加できます。■必要なもの：カメラ付きの PC、イヤホン 又はスピーカー。又は タブレット 又はスマートフォン。

○ お知らせ 関心のある団体から

家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン

ご関心の方は是非ご入会ください。連絡先は下記です。

E-mail: [info@ffpj.org](mailto:info@ffpj.org) URL: <https://www.ffpj.org>

Facebook: <https://www.facebook.com/ffpj2019/> Twitter: [@FFPJ2019](https://twitter.com/FFPJ2019)

個人会員として賛同し、ホームページに意見を掲載していただきました。

<https://www.sffnj.net/single-post/2019/05/01/voice-mikio-kimata>

~~~~~  
自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）、川上香（長野）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletsworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

雑穀・民族植物学関係の個人 HP:生き物の文明への黙示録

<http://www.milletimplic.net/>  
~~~~~

木俣美樹男 Mikio KIMATA [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

植物と人々の博物館／日本村塾 研究員塾生

Nihonmura College for Environmental Studies, Plants and People Museum

公式 HP: <http://www.ppmusee.org>

個人 HP: <http://www.milletimplic.net>